

第198回 信用保証利用企業動向調査

(平成30年7～9月期実績、平成30年10～12月期見通し)

福岡県信用保証協会（本所：福岡市博多区 会長：山崎建典）は、株式会社日本政策金融公庫（本店：東京都千代田区 代表取締役総裁：田中一穂）と共同で、福岡県信用保証協会をご利用いただいている中小企業に対し、景況・金融動向を把握するため、四半期毎にアンケートを実施のうえ発表しています。

なお、次回の発表は平成31年1月を予定しています。



— 今回の調査 —

【調査時点】	平成30年9月中旬
【調査対象】	1,772企業
【有効回答数】	473企業（回答率26.7%）
【調査方法】	封書によるアンケート調査



～ 福岡県内の景況・金融動向 ～

「県内信用保証利用企業の景況は、悪化しているものの、先行きについては持ち直しを見込んでいます」

生産・売上 建設業で改善しましたが、製造業、サービス業、卸売業、小売業で悪化しました。

採算 建設業、小売業で改善しましたが、製造業、サービス業、卸売業で悪化しました。

資金繰り 建設業、小売業で改善しましたが、製造業、サービス業、卸売業で悪化しました。

借入難易感 製造業、卸売業、サービス業で悪化しましたが、建設業、小売業で改善しました。

■ お問い合わせ先

保証統括部 保証企画課 渡邊・内田 電話092(415)2609

URL : <http://www.fukuoka-cgc.or.jp/> Mail : h-suisin@fukuoka-cgc.or.jp



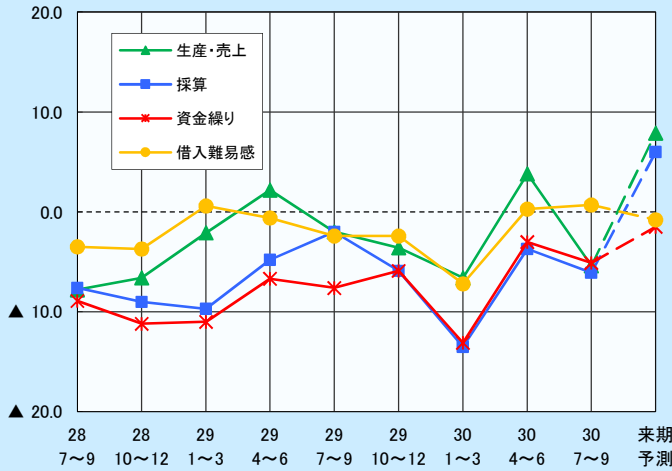
概況

総合DIの推移

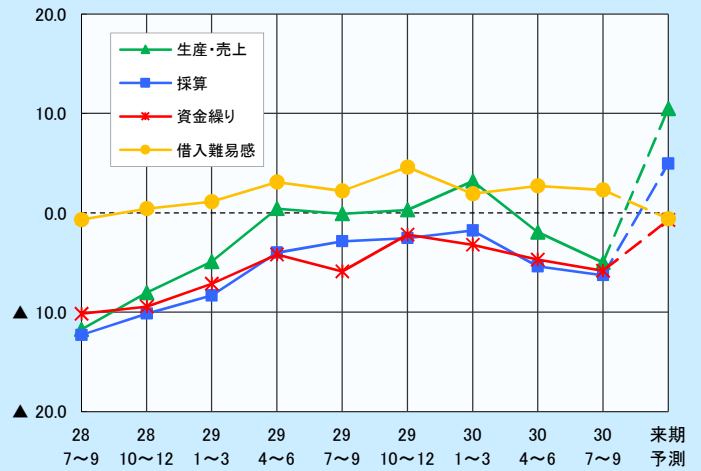
コメント ~福岡の景況は悪化しているが、先行きについては全国同様に持ち直しの見込み~

今期調査(平成30年7~9月期)による景況動向指数は、前期(平成30年4~6月期)実績に比べ、全国値では、採算DI、借入難易感DIは横ばいとなっていますが、生産・売上DI、資金繰りDIはやや悪化しました。福岡では、借入難易感DIは横ばいとなっていますが、採算DI、資金繰りDIでやや悪化し、生産・売上DIで悪化しました。来期予測について、全国、福岡ともに借入難易感DI以外で改善する見込みとなっています。

福岡



全国



※景気動向指数DI(Diffusion Index)とは・・・

景気動向指数DIとは、景気の現状と先行きを予測する動向指数で、アンケート調査において、前期に比べ、「増加(または、好転、容易)」と回答した企業割合から、「減少(または、悪化、困難)」と回答した企業割合を差し引いた数値から、季節的な変動要因(季節調整値)を控除した数値です。

TOPICS (創立70周年記念保証商品「みらい70」のご案内)

『みらい70』は、当協会が創立70周年を迎えるにあたって、

当協会をご利用いただく県内中小企業の皆さまへ感謝の意を伝えるとともに、企業の明るい「みらい」に向けた成長・発展を支援する保証商品です。



○ 信用保証料率 ○

基準保証料率から一律0.2%割引

区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	財務なし
通常	1.90%	1.75%	1.55%	1.35%	1.15%	1.00%	0.80%	0.60%	0.45%	1.15%
	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
みらい70	1.70%	1.55%	1.35%	1.15%	0.95%	0.80%	0.60%	0.40%	0.25%	0.95%

○ ご利用いただける方 ○

次の①または②のいずれかの要件を満たす保証対象中小企業者

- ① 当協会のご利用実績がある方
- ② 申込金融機関との正常な融資取引が6ヶ月以上ある方

○ 商品の概要 ○

- 融資限度額 **100万円以上2,000万円以下** (1中小企業者一口限り)
ただし、原則として直近決算(確定申告)における平均月商2倍の範囲内
10年以内(据置2年以内を含む。一括返済の場合は2年以内。)
- 保証期間
- 資金使途 運転資金・設備資金 ※既存借入金の借換は不可
- 返済方法 元金均等分割返済または一括返済
- 担保/連帯保証人 担保は不要/連帯保証人は原則として法人代表者以外は不要
- 貸付利率 金融機関が定める利率

○ 取扱期間 ○

平成30年10月1日(月)から平成31年3月29日(金)保証協会受付分まで

※金融機関・保証協会の審査の結果、ご希望に添えないこともございます。

ぜひ
ご利用ください!



福岡県信用保証協会

生産・売上DI

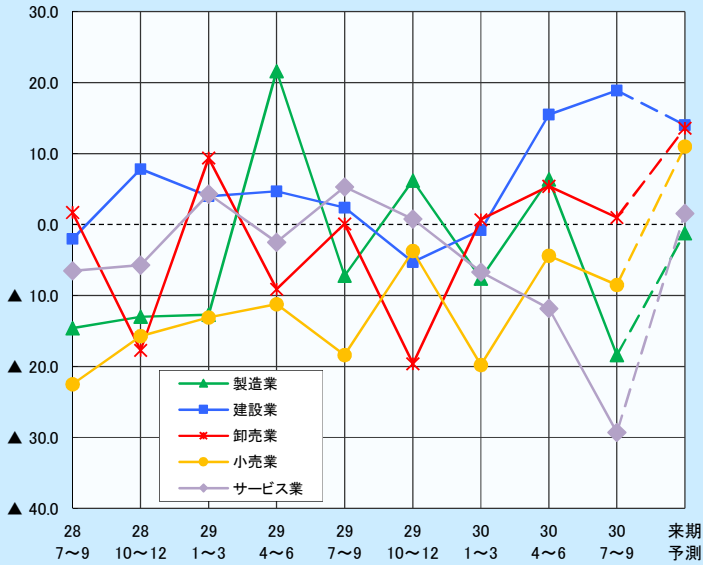
コメント ~建設業で改善し、製造業、サービス業、卸売業、小売業で悪化しました~

生産・売上DIについて、福岡総合値では、前期実績に比べ9.2ポイント悪化し、▲5.4となりました。

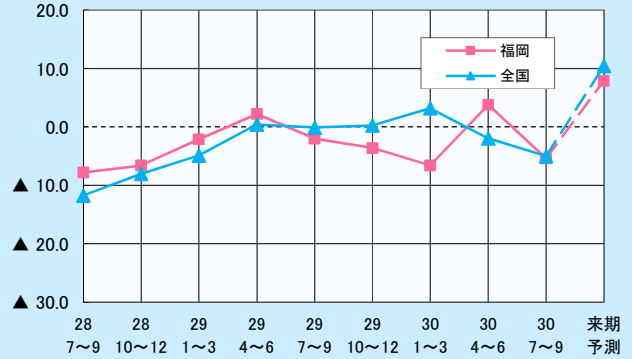
業種別では、前期実績に比べ、建設業で3.4ポイント改善しました。一方で、製造業は24.8ポイント、サービス業は17.5ポイント、卸売業は4.4ポイント、小売業は4.1ポイント悪化しました。

来期予測では、建設業以外の業種で改善する見込みとなっています。

福岡県の実績DI推移(業種別)



全国と福岡県の実績DIの総合



福岡	前期予測	今期実績	来期予測
総合	9.6	▲ 5.4	7.9
製造業	18.6	▲ 18.4	▲ 1.2
建設業	13.3	18.9	14.0
卸売業	13.6	1.0	13.6
小売業	4.0	▲ 8.5	11.0
サービス業	▲ 1.0	▲ 29.3	1.6

採算DI

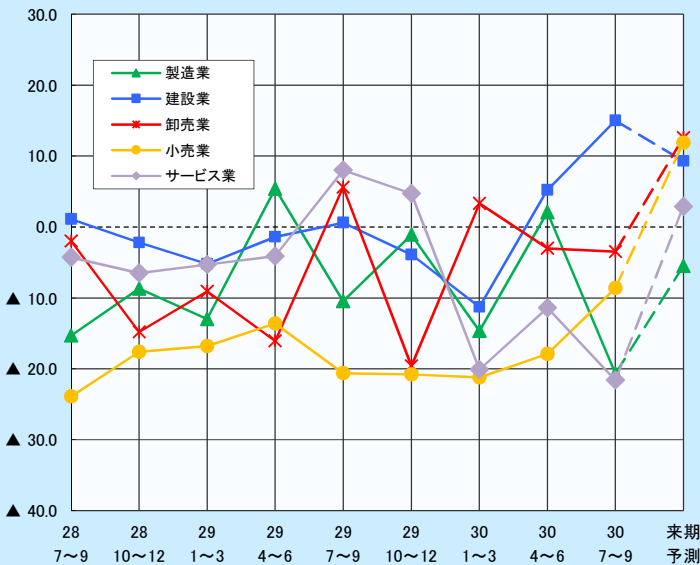
コメント ~建設業、小売業で改善し、製造業、サービス業、卸売業で悪化~

採算DIについて、福岡総合値では、前期実績に比べ2.4ポイント悪化し、▲6.1となりました。

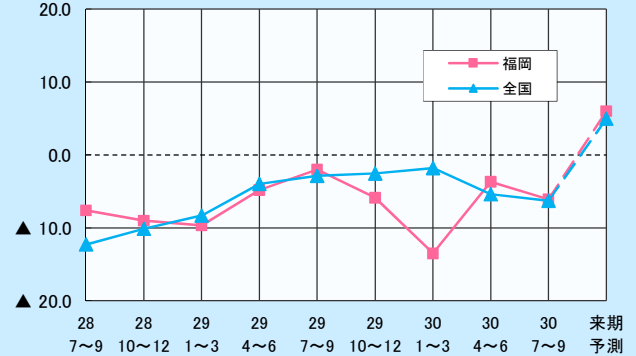
業種別では、前期実績に比べ、建設業で9.8ポイント、小売業で9.3ポイント改善しました。一方で、製造業は22.8ポイント、サービス業は10.2ポイント、卸売業は0.5ポイント悪化しました。

来期予測では、建設業以外の業種で改善する見込みとなっています。

福岡県の実績DI推移(業種別)



全国と福岡県の実績DIの総合



福岡	前期予測	今期実績	来期予測
総合	4.8	▲ 6.1	6.0
製造業	9.2	▲ 20.7	▲ 5.5
建設業	8.7	15.0	9.3
卸売業	14.3	▲ 3.5	12.6
小売業	▲ 3.9	▲ 8.6	11.9
サービス業	▲ 3.3	▲ 21.6	2.9

資金繰りDI

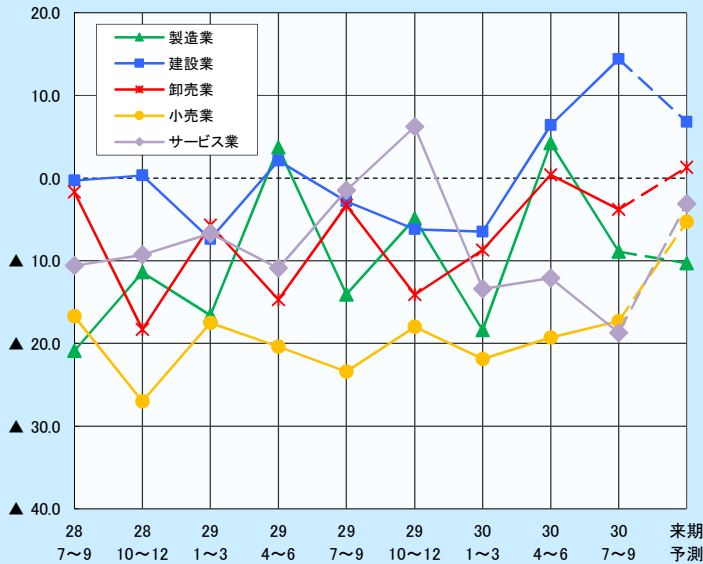
コメント ~建設業、小売業で改善し、製造業、サービス業、卸売業で悪化~

資金繰りDIについて、福岡総合値では、前期実績に比べ2.1ポイント悪化し、▲5.1となりました。

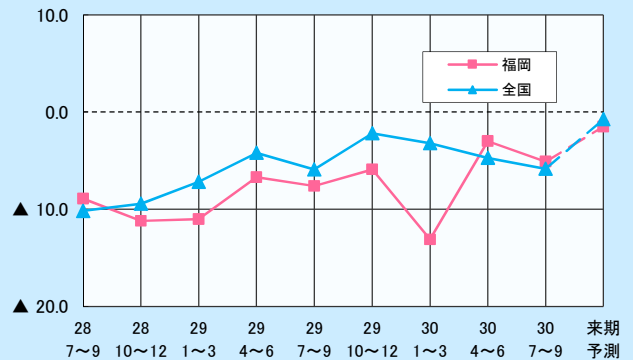
業種別では、前期実績に比べ、建設業は8.0ポイント、小売業は2.0ポイント改善しました。一方で、製造業は13.1ポイント、サービス業は6.6ポイント、卸売業は4.2ポイント悪化しました。

来期予測では、製造業、建設業以外の業種で改善する見込みとなっています。

福岡県の資金繰りDI推移(業種別)



全国と福岡県の資金繰りDIの総合



	福岡	前期予測	今期実績	来期予測
総合	▲ 4.9	▲ 4.9	▲ 5.1	▲ 1.5
製造業	▲ 4.5	▲ 4.5	▲ 8.9	▲ 10.3
建設業	0.4	0.4	14.4	6.8
卸売業	4.1	4.1	▲ 3.8	1.3
小売業	▲ 18.4	▲ 18.4	▲ 17.3	▲ 5.3
サービス業	▲ 7.9	▲ 7.9	▲ 18.7	▲ 3.1

借入難易感DI

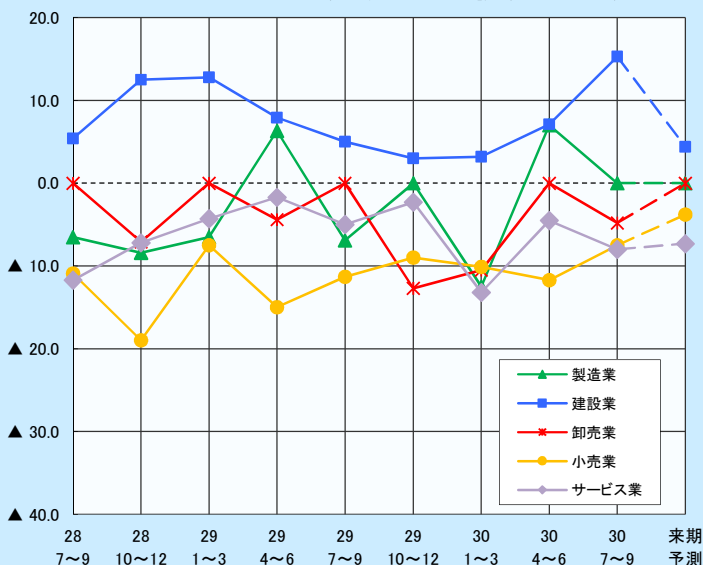
コメント ~製造業、卸売業、サービス業で悪化し、建設業、小売業で改善~

借入難易感DIについて、福岡総合値では、前期実績に比べ0.4ポイント改善し、0.7となりました。

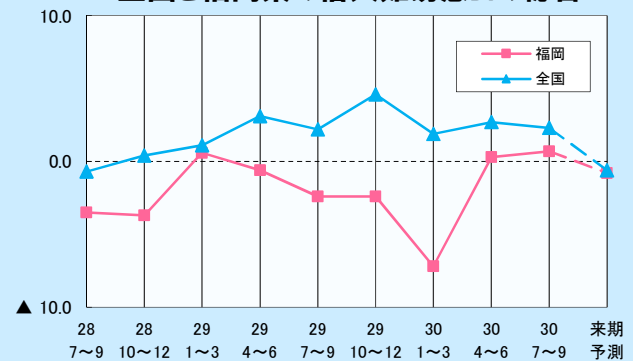
業種別では、前期実績に比べ、製造業は7.0ポイント、卸売業は4.8ポイント、サービス業は3.5ポイント悪化しました。一方で、建設業は8.2ポイント、小売業は4.2ポイント改善しました。

来期予測では、製造業は横ばい、建設業以外の業種で改善する見込みとなっています。

福岡県の借入難易感DI推移(業種別)



全国と福岡県の借入難易感DIの総合

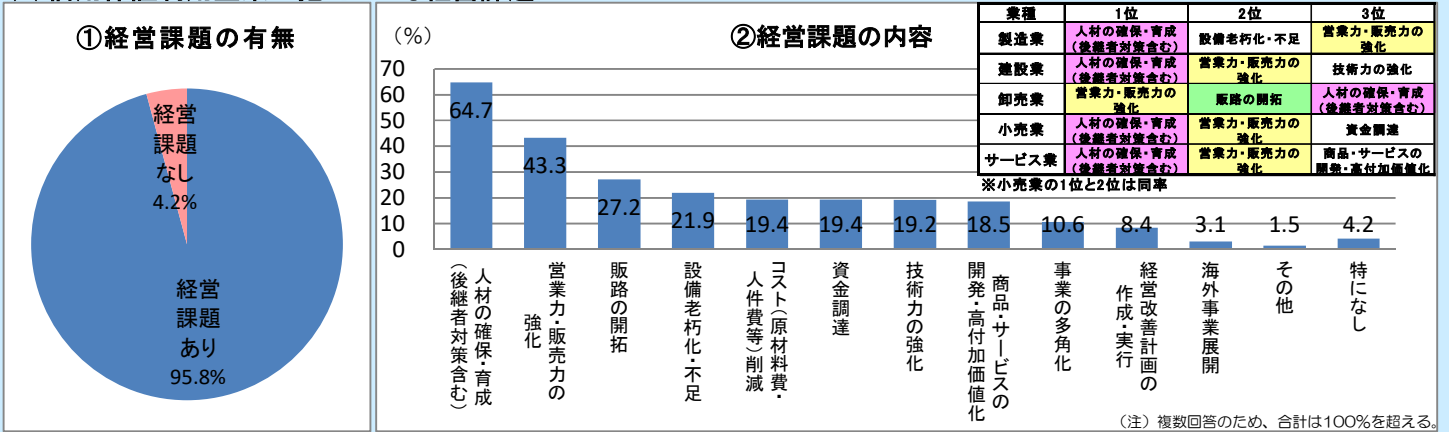


	福岡	前期予測	今期実績	来期予測
総合	▲ 5.6	▲ 5.6	0.7	▲ 0.8
製造業	0.0	0.0	0.0	0.0
建設業	1.4	1.4	15.3	4.4
卸売業	0.0	0.0	▲ 4.8	0.0
小売業	▲ 18.1	▲ 18.1	▲ 7.5	▲ 3.8
サービス業	▲ 12.1	▲ 12.1	▲ 8.0	▲ 7.3

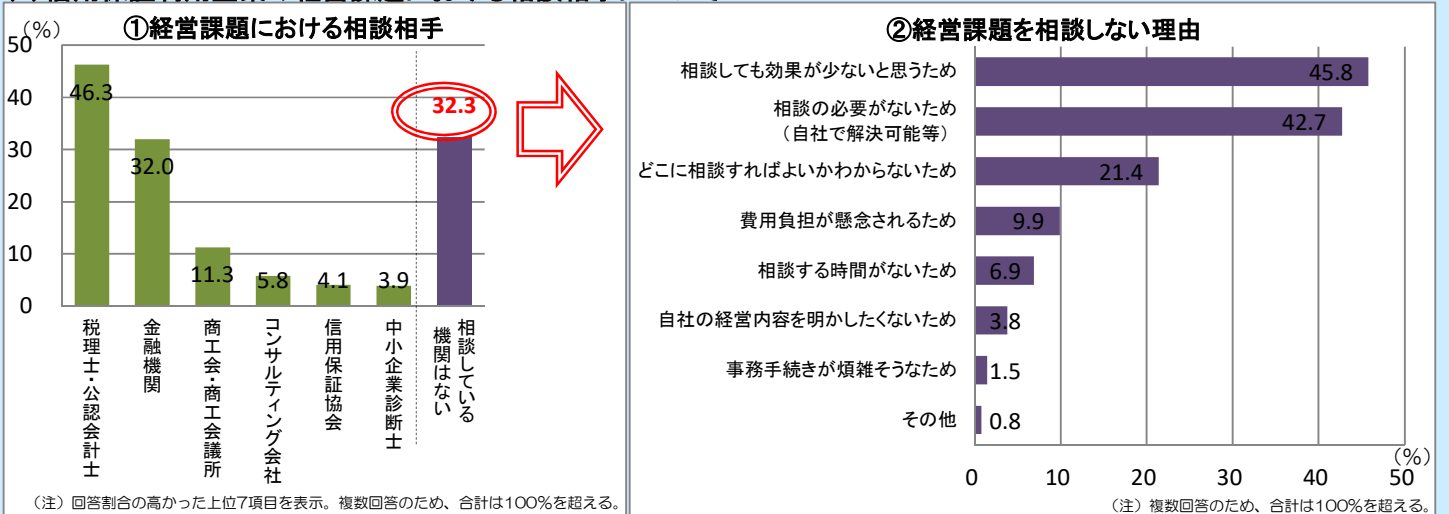
コメント 経営課題・経営支援について

- (1)信用保証利用企業が抱えている経営課題について
 - ①経営課題の有無については、「経営課題あり」との回答が95.8%となっています。
 - ②経営課題の内容については、「人材の確保・育成(後継者対策含む)」との回答が64.7%で最多となり、次いで「営業力・販売力の強化」との回答が43.3%となっています。
- (2)信用保証利用企業の経営課題における相談相手について
 - ①経営課題における相談相手については、「税理士・公認会計士」との回答が46.3%で最多となり、次いで「金融機関」との回答が32.0%となっています。
 - ②①で「相談している機関はない」と回答された方の経営課題を相談しない理由については、「相談しても効果が少ないと思うため」との回答が45.8%で最多となり、次いで「相談の必要がないため(自社で解決可能等)」との回答が42.7%となっています。
- (3)金融機関や信用保証協会に求める経営支援について、「地方公共団体の補助金・制度融資に係る情報提供」との回答が50.4%で最多となり、次いで「業界動向・他社の成功事例等の情報提供」との回答が26.4%となっています。過去調査(平成29年7-9月期)と比較すると、「ビジネスマッチング」で7.1%上昇しており、信用保証利用企業者のニーズが高まっていることが伺えます。

(1)信用保証利用企業が抱えている経営課題について



(2)信用保証利用企業の経営課題における相談相手について



(3)金融機関や信用保証協会に求める経営支援について

